

川崎市親善留学生在日本

川崎市国際交流協会は、市内の大学・大学院・専門学校から選ばれた留学生を、川崎市に滞在させる。一方、留学生たちは「川崎市親善留学生」として国際理解や国際交流を深めるために、さまざまな活動を行います。この秋号では、2022年11月に留学生グループ

「自国と日本文」

建物の違い 中国と日本

■住宅の違い



日本



中国

学校の周りで撮った日本の団地の写真。日本の団地はだいたいこんな建物だと思う。地震が多い国なので、このような建物は地震に強いと思う。

中国は地震の心配が少ないので、レンガを積み重ねてセメントを塗った造りが多く、団地の1階を2世帯分くらい使って大改装し、2つの家族が住んでいたりする。

■古い建物の違い



日本
大須観音(名古屋)

仏教の建物は似ている!



中国

中国雲南省大理市昔の大理国は仏教を国教にしていたのでたくさん仏教の建物がある。



日本

浅草寺(東京)



中国

東河古鎮(大理市)

建物に入る時、同じような門から入ります



日本

明治村の古い住宅(愛知)
【日本の古い建物は木造】



中国

西遞村(安徽省)
【中国の古い建物は石造】

ゴミ問題

■なぜ日本はゴミ箱が少ない?

1995年の地下鉄サリン事件以降、不審物を隠すことができる場所になるとして、次々とゴミ箱が撤去されたとのこと。

また、2001年のアメリカ同時多発テロのあとにも「テロ対策」という名目でゴミ箱が減らされた。しかし、ゴミ箱がなかったとしても、その気になれば不審物を隠せる場所など街中にくらでもある。テロリストが「ゴミ箱がないから」という理由でテロをやめることは基本的にないだろう。

実際のところ、ゴミ箱が減った大きな要因は、行政や企業がテロ対策をきっかけにゴミ箱を撤去することで、ゴミ処理にかかる手間やコストを削減できると気づいたからだという。(タイ)



タイ

タイはゴミ箱があるのにゴミ箱周辺にゴミが散乱している!

■日本の生活で一番慣れないところは「ゴミの捨て方」!

ゴミの捨て方がとても難しい。特に燃えるゴミやプラゴミの分類が難しく、ガラス瓶の捨て方も難しい。区役所に住所を登録する際にもらった冊子に、詳しくゴミの捨て方について書いてあったが、実際にはもっといろいろな種類のゴミが出てくる。もしYouTubeにゴミの捨て方が出ていたら便利だなと思った。(韓国)

仕事のルール

日本は「報・連・相(報告・連絡・相談)」を重んじるが、アルバイトをしている時に、最初から店長に報・連・相を行うのではなく、まずは先輩社員に行くことを学んだ。(タイ)

■日本の生活で最も印象的だったのは日本人の規律!

慣れないところは、日本人の厳しさだ。時間、仕事、勉強、清潔、お金、ルール、すべて。今でも慣れないくらい厳しい。(フィリピン)

タイで私がアルバイトをしたところでは、食べながら仕事をしてもいいし、友達と話しながら作業をしてもよかった。自分の仕事が終わったら帰っていい。日本より自由だと思う。(タイ)

日本で感じた母国との違い

留学生を対象に「外国人留学生修学奨励金」事業で経済的なサポートをおこなっています。

なかでも「留学生と交流する会」^(注)では、おすすめや文化の違いなどを留学生の視点から発表し、参加者と意見交換をおこないます。
本誌が発表した「自国と日本文化の違い」から少しご紹介しましょう。

(注)2023年は11月18日(土)に開催。(P8参照)

文化の違い」から

お正月の違い 中国と日本

■中国のお正月の習慣

- 1月1日ではなく、旧正月(旧暦の1月1日)で干支がかわる。
- 赤いものは福を招くので、旧正月には赤いものを着たり、飾ったりする。
- お年玉はもともと子どもを祟りから守るお守りだったので、年齢に関係なく目下の者に配る。
- 魔除けのため爆竹をならしていたが、現在は禁止。



■日本のお正月の習慣

- 知人などに年賀状を送る。
- 子どもはお年玉をもらう。
- おせち料理を食べる。
- 年が明けてから神社や寺院に参拝する。(初詣)

交通の違い ベトナムと日本

■数の多さに驚くベトナムのバイク

はじめてベトナムを訪れる人は、皆、バイクの多さに驚く。なぜ、ベトナム人は、交通手段として、バイクを使うのか。理由は、ベトナム人にとって、バイクが一番便利な交通手段だから。なぜバイクが一番便利かという点、ベトナムの街は、路地や曲がり角が多く、コンパクトで、簡単に運転できるバイクは、ベトナムの街にあっているからだ。まだ舗装されていない道路も多いので、バイクは便利。



■輸送手段にも使われるバイク

バイクは日常生活において、ベトナム人のいろいろな目的に役立っている。それは交通手段だけでなく、輸送手段としても。



■バックパッキングの紹介

荷物を背負って、バイクのみで旅をするスタイルをベトナムでは「バックパッキング」と呼ぶ。バイクの旅では、自然のままの険しい山を越える人もいるし、旅行の目標も設定しないことが多い。ベトナムはまだ舗装されて

いない道路も多く、曲がりくねった道や崖がたくさんある山など車でいけないところもあるが、バイクなら行くことができる。

●バックパッキングの良さ

- ◆ 地域の地理と文化を探索できる。
- ◆ 自身の意志を強くする。
- ◆ ストレス解消
- ◆ 柔軟な旅行先と時間
- ◆ コスト削減
- ◆ 道路の両側で美しい風景を楽しむ。



以上のベトナムの交通に対して、日本の道路はバイクよりも車やトラックが多く、きれいにまっすぐ走っている。

日本の生活は面白いことがいっぱい

- 自動販売機も面白い。グーグルによると、日本では24人に1台の自動販売機があり、全国で500万台もあるらしい。日本は世界で最も自動販売機の密度の高い国。(フィリピン)
- 日本のスーパーは、店によっては毎日、割引時間がある。食材の品質保持のために、残った弁当や食材が割引価格で販売され、更に安くなる。夜7時頃からスーパーへ行こう!(香港)
- 専門学校に入ったばかりの時、やっと日本人と一緒に勉強ができると楽しみだった。日本語学校を卒業したので、自分の日本語はきっと大丈夫だろうと思った。しかし、実際に通いはじめたら、日本人の話す日本語は学校で学んだ日本語と違った。() (香港)
- 日本には独特な文化があると思った。「空気を読む」「和を大切にする」「建前と本音がある」ことだ。(中国)
- 日本に来たばかりの時、和製英語が面白かった。英単語の意味やニュアンスを日本人が解釈して作った言葉だそう。日本語マニアになるためには、和製英語の勉強も必要だと思った。(中国)

※注意:この記事は、留学生個人の意見や感想をなるべくそのまま掲載しています。()は留学生の出身国や地域。